



本年産イチゴを海外向けに初出荷するJA職員ら(6日、鹿沼市奈佐原町)

粒ぞろいイチゴ 海外出荷始まる

県産イチゴの「スカイベリ」と「とちおとめ」の2017年産海外向け出荷が6日、鹿沼市のJAかみづが南部営農経済センターで始まった。

JA全農とちぎは昨年産から輸出に力を入れてお

り、昨年産は両品種で計44トン・トンネを東南アジアなどに輸出。今年は「最低でも1トン」を目指し、レストランやホテルのデザートだけでなく、実売も本格化させる方針という。

この日出荷されたのは両品種各200パック。形が良く、大きいイチゴばかりで、JA職員らが慎重に運搬や梱包を行った。

イチゴは農産物などを扱う商社「ユーユーワールド」(宇都宮市)がマレーシアやシンガポールに輸出する。市場は通さずに直送するため、8日には現地に着くという。